

2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年5月8日

東

上場会社名 株式会社CRI・ミドルウェア 上場取引所
 コード番号 3698 URL <https://www.cri-mw.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 押見 正雄
 問合せ先責任者（役職名） 取締役専務執行役員（氏名） 櫻井 敦史 (TEL) 03-6823-6853
 半期報告書提出予定日 2025年5月8日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	1,855	23.8	387	108.8	390	104.8	271	78.2
2024年9月期中間期	1,499	3.3	185	△1.5	190	△5.9	152	3.4

(注) 包括利益 2025年9月期中間期 278百万円(91.3%) 2024年9月期中間期 145百万円(10.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	51.95	—
2024年9月期中間期	29.16	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	5,746	3,942	67.8
2024年9月期	5,360	3,768	69.6

(参考) 自己資本 2025年9月期中間期 3,896百万円 2024年9月期 3,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,530	11.5	550	49.3	556	45.0	411	35.0	78.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年9月期中間期	5,578,150株	2024年9月期	5,578,150株
2025年9月期中間期	352,977株	2024年9月期	352,977株
2025年9月期中間期	5,225,173株	2024年9月期中間期	5,224,673株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の要因に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、各国の通商政策等の影響を受けて一部に弱めの動きもみられるが、企業収益は改善傾向にあり、業況感は良好な水準を維持しており、景気は緩やかに回復しております。

当社グループを取り巻く事業環境については、コロナ禍を契機として普及したテレワークが新たな働き方として定着し、ボイスチャットやWeb会議ツールなどオンラインコミュニケーションツールの活用は常態化しております。また、モビリティ業界においては、SDV (Software Defined Vehicle) の開発が注目を集めており、ゲーム業界でミドルウェアを開発し培ってきた当社の技術と知見が、モビリティ業界におけるSDVの開発に対しても貢献できるものと考えております。

これらの状況下、当社グループは、オンラインコミュニケーションミドルウェア「CRI TeleXus (シーアールアイテレックス)」の開発を行うとともに、モビリティなど今後成長が見込める事業、市場を見据えた研究開発体制を整備し、事業基盤の拡大、グループシナジーの創出に注力いたしました。

当中間連結会計期間の業績は、売上高1,855,904千円(前年同期比23.8%増)、営業利益387,520千円(前年同期比108.8%増)、経常利益390,883千円(前年同期比104.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益271,464千円(前年同期比78.2%増)となりました。

セグメント毎の経営成績は、次のとおりであります。

① ゲーム事業

当社製ミドルウェア「CRIWARE (シーアールアイウェア)」等の国内許諾売上は、当第2四半期が好調に推移したことにより、増加いたしました。海外向けは、中国において第3のOSがローンチされた効果と、欧米圏で引き続き新規の許諾売上に複数獲得したことにより、増加いたしました。株式会社ツーフアイブが行う音響制作は、第1四半期に引き続き、当第2四半期でも大型の音声収録業務を受注したことにより、大きく増加いたしました。なお、「CRI TeleXus」への研究開発投資は当セグメントにおいて継続して行っております。当セグメントの売上高は948,867千円(前年同期比20.8%増)、セグメント利益は128,795千円(前年同期比90.2%増)となりました。

② エンタープライズ事業

組込み分野の売上は、カラオケ案件で第1四半期に大型の許諾売上があったことに加え、当第2四半期でリアルカジノ向けの新規許諾売上が計上されたことにより、大きく増加いたしました。モビリティ分野の売上は、新製品となる車載メーターグラフィックソリューション「CRI Glassco」が本格的に立ち上がったことに加え、車載サウンドソリューション「CRI ADX Automotive」の採用も順調に増加したことにより、大きく増加いたしました。クラウドソリューション分野の売上は、R&Dフェーズへのシフトのため、受託業務量を計画的に減らしたことにより、減少いたしました。当セグメントの売上高は907,037千円(前年同期比27.0%増)、セグメント利益は258,724千円(前年同期比119.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当中間連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べて386,181千円増加し、5,746,382千円となりました。これは主に、「現金及び預金」の増加(前連結会計年度末に比べて300,193千円の増加)、「売掛金及び契約資産」の増加(前連結会計年度末に比べて108,160千円の増加)及び「その他流動資産」の増加(前連結会計年度末に比べて25,205千円の増加)並びに「投資その他の資産」の増加(前連結会計年度末に比べて23,654千円の増加)があった一方、「仕掛品」の減少(前連結会計年度末に比べて13,322千円の減少)及び「ソフトウェア」の減少(前連結会計年度末に比べて52,915千円の減少)によるものであります。

② 負債の部

当中間連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末に比べて211,933千円増加し、1,804,070千円となりました。これは主に、「未払法人税等」の増加(前連結会計年度末に比べて50,086千円の増加)及び「賞与引当金」の増加(前連結会計年度末に比べて30,500千円の増加)並びに「その他流動負債」の増加(前連結会計年度末に比べて157,063千円の増加)があった一方、「買掛金」の減少(前連結会計年度末に比べて30,851千円の減少)によるものであります。

③ 純資産の部

当中間連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べて174,248千円増加し、3,942,312千円となりました。これは主に、「親会社株主に帰属する中間純利益」の計上による「利益剰余金」の増加(前連結会計年度末に比べて166,961千円の増加)及び「非支配株主持分」の増加(前連結会計年度末に比べて9,306千円の増加)によるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ298,083千円増加し、3,927,583千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により獲得した資金は422,236千円(前年同期は258,981千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の計上390,883千円、減価償却費の計上65,218千円、売上債権の減少額31,709千円及び賞与引当金の増加額30,500千円並びにその他の流動負債の増加額41,268千円の資金の増加要因があった一方、仕入債務の減少額30,851千円及びその他の流動資産の増加額27,288千円並びに法人税等の支払額111,657千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により支出した資金は22,954千円(前年同期は37,434千円の獲得)となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出14,785千円及び有形固定資産の取得による支出7,563千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により支出した資金は104,503千円(前年同期は77,824千円の支出)となりました。これは、配当金の支払いによる支出104,503千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の連結業績予想は、当中間連結会計期間までの好業績を鑑み、2024年11月7日に公表の連結業績予想を上方修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,626,399	3,926,592
売掛金及び契約資産	766,910	875,070
商品	3,938	3,774
仕掛品	18,677	5,354
その他	70,829	96,035
貸倒引当金	△2,375	△2,375
流動資産合計	4,484,379	4,904,452
固定資産		
有形固定資産		
建物	139,782	139,782
減価償却累計額	△22,483	△27,169
建物(純額)	117,298	112,612
工具、器具及び備品	106,814	113,827
減価償却累計額	△74,203	△80,606
工具、器具及び備品(純額)	32,610	33,220
有形固定資産合計	149,908	145,832
無形固定資産		
ソフトウェア	376,417	323,501
のれん	554	—
無形固定資産合計	376,971	323,501
投資その他の資産		
投資有価証券	139,075	139,144
繰延税金資産	73,949	84,844
その他	135,916	148,607
投資その他の資産合計	348,940	372,595
固定資産合計	875,820	841,929
資産合計	5,360,200	5,746,382

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,817	42,966
1年内償還予定の 転換社債型新株予約権付社債	—	1,000,000
賞与引当金	—	30,500
未払法人税等	89,053	139,140
その他	228,150	385,213
流動負債合計	391,021	1,597,819
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	—
退職給付に係る負債	143,416	148,551
その他	57,698	57,698
固定負債合計	1,201,115	206,250
負債合計	1,592,136	1,804,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	784,904	784,904
資本剰余金	825,083	825,083
利益剰余金	2,492,477	2,659,438
自己株式	△382,784	△382,784
株主資本合計	3,719,680	3,886,641
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	12,262	10,341
その他の包括利益累計額合計	12,262	10,341
新株予約権	7,453	7,355
非支配株主持分	28,666	37,973
純資産合計	3,768,063	3,942,312
負債純資産合計	5,360,200	5,746,382

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,499,598	1,855,904
売上原価	682,408	717,997
売上総利益	817,189	1,137,907
販売費及び一般管理費	631,577	750,387
営業利益	185,612	387,520
営業外収益		
受取利息	1,300	659
受取配当金	6	6
補助金収入	1,586	2,445
その他	2,820	981
営業外収益合計	5,714	4,092
営業外費用		
為替差損	—	640
固定資産除却損	441	—
その他	—	88
営業外費用合計	441	729
経常利益	190,885	390,883
税金等調整前中間純利益	190,885	390,883
法人税、住民税及び事業税	43,898	126,113
法人税等調整額	3,078	△10,894
法人税等合計	46,976	115,219
中間純利益	143,909	275,664
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△8,448	4,199
親会社株主に帰属する中間純利益	152,357	271,464

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	143,909	275,664
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,882	3,185
その他の包括利益合計	1,882	3,185
中間包括利益	145,791	278,849
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	148,953	269,542
非支配株主に係る中間包括利益	△3,161	9,306

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	190,885	390,883
減価償却費	60,321	65,218
のれん償却額	3,325	554
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,701	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	30,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,509	5,135
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,290	—
売上債権の増減額(△は増加)	83,086	31,709
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,770	13,486
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,195	△27,288
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,632	△30,851
未払費用の増減額(△は減少)	△38,164	2,820
その他の流動負債の増減額(△は減少)	20,951	41,268
その他	△24,234	9,860
小計	269,671	533,296
利息及び配当金の受取額	1,517	596
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△12,207	△111,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,981	422,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△20,659	△7,563
有形固定資産の売却による収入	3,509	—
無形固定資産の取得による支出	△45,486	△676
敷金及び保証金の差入による支出	—	△14,785
その他	71	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,434	△22,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△77,824	△104,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,824	△104,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,116	3,305
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	219,707	298,083
現金及び現金同等物の期首残高	3,391,081	3,629,500
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,610,788	3,927,583

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 配当に関する事項

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2023年11月9日 取締役会	普通株式	利益剰余金	78,370	15	2023年9月30日	2023年12月7日

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 配当に関する事項

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2024年11月7日 取締役会	普通株式	利益剰余金	104,503	20	2024年9月30日	2024年12月5日

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			中間連結損益計算書計上額
	ゲーム事業	エンタープライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	785,430	714,167	1,499,598	1,499,598
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	785,430	714,167	1,499,598	1,499,598
セグメント利益	67,708	117,904	185,612	185,612

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			中間連結損益計算書計上額
	ゲーム事業	エンタープライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	948,867	907,037	1,855,904	1,855,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	948,867	907,037	1,855,904	1,855,904
セグメント利益	128,795	258,724	387,520	387,520

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり中間純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり中間純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり中間純利益	29円16銭	51円95銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する中間純利益(千円)	152,357	271,464
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純利益(千円)	152,357	271,464
普通株式の期中平均株式数(株)	5,224,673	5,225,173
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。